

のような生活になってしまいます。それと同じように「はきものをそろえる」これが、仏道の修行であって、決して難しいことではありません。心のお掃除も、決して難しいことではなく、私たちの生活の中にあります。仏教徒が守らねばならぬ「三聚浄戒」という三つのお誓いがあります。

その第一は「摂律儀戒」であって、他人に注意されなくても、自分で自分を自律して、悪いことはやらないうという誓いです。それが自分のはきものは、自分できちんとそろえて、他に迷惑をかけないお誓いの実行です。

その第二は「摂善法戒」であって、自分のはきものをそろえるだけでなく、人のはきものもそろえてあげる善い行いをする誓いです。

その第三は「摂衆生戒」であって、いつでも、トイレのスリッパを向こうむきにそろえて出てくる、世のため人のために、そして世界平和のために尽くすお誓いがあります。

この「はきものをそろえる」という、小さな常々の

心がけの中に仏教徒の誓願があるのです。禅寺の玄関には「照願脚下」（足もとを見なさい）と書いた木札が置かれています。心を汚す煩惱の毒蛇はどこにいても、それは自分の足もとにあります。はきものをそろえることは、自分の心をきれいにし、毒蛇を寄せ付けないことにつながります。自分のはきものをそろえないような心では人生のすべてが無責任のやりっぱなしになってしまうのです。

禅の修行は、まず「はきものをそろえる」ことから始まります。それが座禅の心であります。「仏道をなろうというは自己をなろうなり」と道元禅師もお示しであります。自分のはきものをそろえ、心をお掃除し、世界中の人の心を仲良くそろえる修行をしようではありませんか。それが仏道であり、仏教徒の誓いであり、心のお掃除であります。

合掌

仏教法話

— 心のひかり・人生のしるべ —

心のお掃除



心のお掃除

「掃けば散り散りてはまたも降り積もる庭の落ち葉も人の心も」

という道歌がありますが、お掃除は禅寺の修行であります。それは昔中国に百丈禪師というえらい和尚さまがおられ、毎朝座禅の修行と勤行が終わった後、修行僧の先頭に立つて、庭のお掃除をなされるのでした。百丈禪師がお年をとって、ご苦労ですから私たちがやりますからと申し上げてもやめられませんので、修行僧が心配して禪師の箒を隠してしまいました。すると禪師はお部屋に戻られ一日中お食事を食べられないので、侍僧が「お体のお加減でもお悪いのですか」と伺いますと、禪師は「一日作さざれば一日喰らわず」と答えられました。

これが禅の修行の規律となつて、えらい和尚さまからお小僧さままで一緒にお掃除をする「作務」という修行となり、作務衣という禅僧の仕事着となつたので

す。

お掃除をする心もきれいになる
きれいにお掃除をして

お客さまを迎えよう

みえないところもきれいにすると

自分を磨く人になれる

美しい日本を

お掃除をしてもっと美しくしよう

みんなでお掃除をして

青い地球を大切にしよう

道元禪師の道詠に

春は花 夏ほととぎす 秋は月

冬雪冴えてすずしかりけり

というお歌があります。何でもないようなことですが、このお歌の題は「本来の面目」と申されています。

「柳はみどり 花くれない」という禅語も同じ意味ですが、そのありのままのことが尊い人の心の清浄なのです。

お釈迦さまは「よくわかつてくれた」と言つて十大弟子のひとりになつたのです。

はきものをそろえる

人間だけが花を見て美しいと感ずるのです。それが人間の仏心です。その花を見て美しいと思う心のお掃除をしないと、ごみだらけの欲深い心になつてしまうのです。道元禪師は「本来人は仏さまである、美しい花がそのまま仏さまのお姿である」というお経のお示しに、それならなぜ修行をしなければならぬのだろうという疑問を抱かれましたが、中国に渡られ天童如淨禪師について修行され、人間は本来仏さまの心を持つているが、修行をしないと煩惱の草や、迷いの葉にうずもれて、人間としての道がわからなくなってしまうのだということに悟られたのであります。花を見たり

「私はまだ修行を始めたばかりでございしますが、仏道修行の心得をお教えてください。」と若い修行僧が禪師にお願いしました。仏道の修行は心のお掃除であります。

「朝、お粥をいただいた応量器を洗いましたか。」

「はい、洗いました」

「それで良いのです」

緑の柳を見たり紅葉の美しさに感動したり真つ白な雪景色が清浄な姿に見えるのは、人間には仏心があるからです。お釈迦さまの十大弟子のひとりパンタカさまはお経がおぼえられず泣いていました。お釈迦さまはパンタカさまに箒と塵掃いをさづけ、祇園精舎のお掃除をさせました。パンタカさまは三十年もお掃除をして

道徳の修行というものは、難しい理論や、私たちの生活とかけ離れた、特別のさとりではなく、朝起きて顔を洗うこと、お互いにご挨拶を交わすことを示しています。朝起きて顔も洗わず、ご挨拶もしなければ、動物

とは心のお掃除をすることですか」と申し上げると、